

なつかしいアシの風景や
湿原の貴重な植物との出会い

浮島ヶ原自然公園

Ukishimagahara Nature Park

ミニガイド 5月版

企画・制作：富士自然観察の会

かつては「浮島沼」と呼ばれた湿原で
そこに生きる貴重な動植物に出会えます
四季折々の動植物を観察してみませんか？

浮島ヶ原の湿原には、環境省レッドデー
タリストや静岡県版レッドデータブック
に記載されている貴重な植物が生育して
います。

そこで、この湿原の貴重な植物群落と自然
風景を保全し、身近な自然を観察できる
自然公園として浮島ヶ原自然公園が整備

されました。サワ
トラノオやヒキノ
カサ、ノウルシなど
の貴重な植物、カワ
セミやアオサギなど
の野鳥たち、ハラ
ビロトンボやア
オモンイトンボ
などの昆虫など、
様々な動植物との
出会いを楽しめる
自然公園です。



サワトラノオ

5月の公園では、いよいよサワトラノオが咲きます。

全国でも貴重な植物であるサワトラノオが白い花を咲かせます。サワトラノオ群落は、富士市指定天然記念物になっています。

サワトラノオ

Lysimachia leucantha Miq. (沢虎の尾)

分類: サクラソウ科 オカトラノオ属 保全状況評価: 絶滅危惧IB類(環境省)・絶滅危惧IB類(静岡県)

原野や川岸の湿地に生える多年草です。茎の先に10cm 前後の穂状の花をつけるのでトラノオ(虎の尾)の名がつけられました。浮島ヶ原では、4月下旬から5月にかけて白い花が咲きます。

関東地方と九州に数ヶ所の産地が知られていますが、いずれの地域でも自生地は非常に少なくなっています。浮島ヶ原におけるサワトラノオの発見は、関東と九州の分布をつなぐ意味で貴重であると考えられます。

また、まとまった個体数を維持しているのは、この浮島ヶ原と阿蘇高原ぐらいではないかと思われま

す。静岡県における分布は、富士市と沼津市をまたがる浮島ヶ原のみで、主に公園内とその周辺に群生します。この場所は国道1号線に沿っており、土地開発に伴う埋め立ても進んでいたことから、サワトラノオなどの湿生植物保護のねらいもあって、この浮島ヶ原自然公園の設置が計画されました。現在、公園では1000株以上開花します。



この花も見頃です。

ナヨナヨワスレナグサ

Myosotis laxa Lehm. subsp. *baltica* (Sam.) Hyl. ex Nordh. (なよなよ勿忘草)

分類: ムラサキ科 ワスレナグサ属

高さ50~60cmになり、全体に軟弱で周囲のヨシなどにもたれかかって生育しているところから、この名前がつけました。5月頃から花を咲かせ、8月ぐらいまで咲き続けます。この浮島ヶ原のみに分布するという説もありましたが、近年はヨーロッパ原産の帰化植物とする説が有力です。



このほかにも、春の花が多数咲いています。詳しくは公園ガイドまで。

浮島ヶ原自然公園のWebサイト・ブログ・Facebookページを開設しています。

<http://ukishimagahara.net/> または



「@ukishimagahara」



Find us on
Facebook

「浮島ヶ原自然公園」

